

▼サビーン点滴静注用 [注]

【重要度】★★ 【一般製剤名】デクスラゾキサラン Dextrazoxane 【分類】解毒剤 [アントラサイクリン系抗悪性腫瘍剤の血管外漏出治療剤]

【単位】▼500mg/V

【常用量】1日目、2日目に1000mg/m²、3日目に500mg/m²

【用法】1～2hrかけて点滴静注。血管外漏出後6hr以内に投与開始。注射用水25mLで溶解し、500mLの生食か乳酸リンゲルか5%ブドウ糖で希釈

【透析患者への投与方法】設定されていない(1)

【保存期CKD患者への投与方法】Ccr 40mL/min未満：50%に減量(1)

【特徴】アントラサイクリン系抗悪性腫瘍剤の血管外漏出治療薬。全例調査。医薬品卸はスズケンのみが取り扱いできる(2014年現在)

【主な副作用・毒性】注射部位反応、悪心・嘔吐、肝機能障害、クレアチニン上昇、発熱、口内炎、下痢、脱毛、めまい、頭痛、失神、呼吸困難、高血圧、感染症、血清電解質異常など

【代謝】数分で2種類の間代謝物に代謝され、さらに代謝を受けADR-925となる(1)

【排泄】尿中回収率34～48%(1) 胆汁中にはほとんど排泄されない(1) 【CL】10L/hr(1)

【t1/2】2～3hr(1)

【蛋白結合率】2%未満(1)

【Vd】40～50L/man(1)

【MW】268.27

【透析性】透析されやすい特徴を有している(5)

【O/W係数】0.025 [1-オクタノール水系](1)

【相互作用】フェニトイン併用は推奨されない[細胞毒性のある薬剤と併用するとフェニトインの吸収が低下するおそれ](Product characteristicsにこのように記載されているが、機序不明)(1) CYPを阻害しない(1)

【備考】調製後、150分以内に投与を完了させる。漏出部位を冷却している場合には、投与15分以上前に取り外す。

【更新日】20190807

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。